

一九四一年六月には一千四百七十七萬、同年九月には一千九百十萬に増加、本年五月には約千九百五十萬、同月には千九百五十萬に増加するものと見られる。

三、火砲、砲薬その他
野砲及び對戦車砲は現在一ヶ月約二千門、兩者を合しての量ならん、の割合で生産されてある。輕機銃は一ヶ月五萬五千挺以上の割合である。筒状砲及び大砲併用砲薬の製造は新設工場の作業開始により昨年の生産量に比して著しく増加してある。また、高性砲薬の生産は昨年十二月に比し五倍の生産額を示してある。

六、鋼
本年六月末迄に契約権限を賦與された鋼費は一千七百億ドルであつて、これに六月廿日現在議會に於て審議中のもの又は議會を通過したものが大統領の署名未済のものを含めれば、その總計は約二千三百三十億ドルに達する。

一九四〇年六月以降本年五月迄に契約又は委員附託となつたものは一千八百億ドルであつて、六月末迄に契約を完了した各種材料、物品に八百億ドルを出され、金額は三百五十億ドルを上つた。

七、非鐵金屬原料
マンガン、(二酸化)錳その他主要原料の生産は増加しつつあるが、需要を満すに充分ではない。その不足は今後重大化する虞がある。

海外特殊情報 第三十二號

昭二七・九・一九出
情報局第一部第二課

◎飛行機搭載潜水艦

日本のみ十六、七隻所有

UP(東洋向)ロワシントン十六日發 海軍専門家の意見によると日本海軍はオレゴン洲に焼夷彈を投下した型の水上機を搭載し得る潜水艦を少くとも十六隻乃至十七隻もつてゐる。然し斯る潜水艦搭載機は爆彈積載能力が小さいこと、これを攻撃する敵側の戦闘機に極めて容易に捕捉されるために「敵を惑亂するだけの價值しか有しない。米國海軍では一九二三年世界大戰の潜水艦を飛行機搭載艦に改建したが、その結果はかゝる飛行機が非實用的であることを立證したので、それ以後、米國海軍では行はれなかつた。尚ドイツにも、英國にも飛行機搭載潜水艦が出来たこと、報道はない。

◎大東亞省と外相更迭に關する重慶側解釋

中央社重慶十四日發

るが、斯かる準備はその成果を収めることは出来ないであらう。

◎スポーツ・ゲームに代る戦争ごっこ

新學期の米小學生

米通信(重慶向) ニューヨーク十五日發 十四日新學期が始つて見ると米國の小學生達は
休暇中に大變な戦争熱に浮かされて學校に歸つて來た。子供達は砲丸投の代りに手榴彈投げ
を習(ボクシングの代りにテツキを持つて銃劍術をやる)云ふ騒ぎ。今迄のスポーツ、ゲ
ームはやがて戦争に必要な筋肉の練成(綱登り、壁登り、背囊を背負つたまゝでの水泳、落
下傘降下に似た高い所からの飛び下り)といふことに取つて代られることゝならう。ハイ
スクールでは二年前から特別の準備軍事教育及び飛行準備教育を全生徒に課してゐるが、この
特別軍事教育の學科中には機械學、電氣作業、ラジオ及び自動車の機械學等が含まれる。飛行
準備教育の課程には特殊數學、理學、空氣動力學、發動機、氣象學、航空學等を含んでゐる。
數學及び諸科學に於ける諸問題は直接空軍及び機動戦に關聯する譯である。女生徒連中は
りこの戦時教育の影響を受けてゐる。彼女等の育児法、料理法、栄養研究などに對する女性
自然の關心もやがては戦時色をもつことであらう。

◎日本軍グ島奪回を企圖

激戦展開中と米發表

ロイターワシントン十六日發

米海軍省發表の要旨

日本軍はソロモン群島東南部のグアダカナル島を奪回せんとして更に猛烈な作戦を開始した
が、米陸戦隊は依然日本軍は過去五日間に飛行機廿五機を失つた。日本軍増援部隊は夜蔭に
乘じて米軍の占據してゐる地域に對する上陸に成功し、九月十三、十四日の兩日に同地の飛行
場を奪取せんと企て、激戦展開中である。米空軍はグアダカナル島の北部及び西北部の日
本軍基地に反撃を加へたが日本軍は益々兵力を増強して米軍に壓力を加へてゐる。米陸軍空
軍はグアダカナル島附近で零型戦闘機四機を撃墜し、又ギゾー島の日本軍基地に
る油庫施設に銃撃を加へた。十三日には米陸軍機はサンタ・イサベル島の西北方レカタ灣で
日本水上機を攻撃しその一機を破壊し、他に損傷を與へた。

◎太平洋軍事會議東亞情勢檢討